



地球の明日を支える

CRISIS MANAGEMENT

第2回 海外安全対策講座 (OSE)

2015年7月2日 木曜日

海外出張者・赴任者向けの危機管理訓練 H.E.A.T.
Hostile Environment Awareness Training / 3h

提供

Crisis Management Group

CRISIS MANAGEMENT 株式会社 / CMSS 株式会社

主催・協力

一般財団法人 エンジニアリング協会

【講座の狙いと特徴】

本講座では、日本企業の危機管理体制を総合的に支援する専門組織である CRISIS MANAGEMENT 株式会社(エンジニアリング協会 賛助会員)が、高い専門知識を持ち現場経験も豊富な講師による講義と、海外の赴任先で事件やテロに巻き込まれた場合の対処方法に関する想定訓練を提供します。

本講座は二部構成で、前半は、誘拐、テロ、暴動、爆発物や火器に関する基礎知識および自らが生活の中で行なうべき危機管理や心構えについて、講義を行います。

後半は、海外の工場やオフィス、空港、レストランなどで事件や武装グループによる襲撃、誘拐などに巻き込まれた際の対処方法、退避方法、基本行動や心構えなどについて、外国人スタッフを含めたトレーナーと共に想定訓練を行います。

赴任地が現在は危険地域でなくとも、明日の治安状況は誰にもわかりません。ぜひ本講座をきっかけに、海外のみならず国内においても普段から危機管理の意識を高めていただければ幸いです。

【講師紹介】

清田 泰寛

(CRISIS MANAGEMENT 株式会社 セキュリティ担当コンサルタント)

1966年、東京生まれ。陸上自衛隊時代、国連モザンビークPKOやイラク復興支援活動に参加。自衛隊退官後、セキュリティコンサルタントとしてアフガニスタンへ赴任。海外危険地域のセキュリティマネージャー育成や現地サーベイおよびリスクアセスメント、危機管理訓練の講師を務める。

マイケル・ダニエル

(CRISIS MANAGEMENT 株式会社 主任セキュリティコンサルタント)

1967年、トリニダード・トバゴ生まれ。警察機関や特殊部隊で27年の経験を持ち、SAS、FBI、DEA、US シークレットサービスなどの国際治安機関との共同訓練や作戦にも参加。英国のエリザベス女王やチャールズ皇太子、米国のクリントン大統領(当時)夫妻、国連のアナン事務総長(当時)など国際的VIPの身辺警護も務めた。当社外国人スタッフのリーダーとして、英語による講義や実地訓練を提供している。

【2015.07.02 H.E.A.T. ①】**Lesson 座学 / 3hコース**

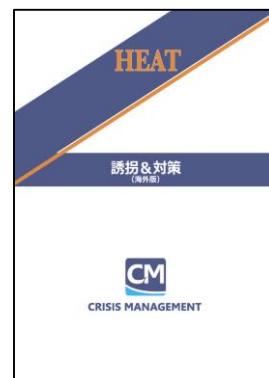
講師:清田泰寛による危機管理セミナー

《テロリズム概要》**《銃火器・爆発物の脅威》****《暴動と誘拐の対策》****《実地訓練の心得》****《海外での心構え》**

…60min

ベーシックコース教材

テロリズム概要

爆発物と銃火器
の脅威誘拐&対策
海外版

暴動&対策

ファーストエイド
(応急処置)

☆ベーシックコースでは180分の受講で5項目のテキストを使用して、海外での想定や対応、注意点などを細かく説明します。



テロリズム概要

1. テロリズムとは？

- ★国際的なテロの定義は存在しない。元来はフランス革命の際の「恐怖政治」
- ★「テロは定義するより、描写するほうが簡単な現象」－米政府
- ★「政治的な目的のために強要、脅迫、威嚇あるいは個人や集団の態度を変えさせるような恐怖の状態を作り出すための暴力の使用または威嚇的使用のこと」－ビンヤミン・ネタニエフ
- ★テロリズムとは、何らかの政治的目的のために、暴力や暴力による脅威に訴える傾向や、それによって行われた行為のこと。また、恐怖政治のこと。テロリズムを標榜しテロを行う者をテロリストと呼ぶ。

2. なぜテロは頻発するのか

1. テロが発生しやすい環境の醸成
 - ・1989米ソ冷戦構造の崩壊後国家を持たない政治的集団、思想・宗教グループの顕在化
 - ・民族の分離・独立、文化の再興などを主張
2. 科学の進歩に伴うテロの有効性の向上
 - ・兵器威力の増大　－　個人が軍と戦える
 - ・ネット社会　－　サイバーテロによるシステム破壊
 - ・ライフラインに依存する社会　－　甚大な被害を及ぼし得る
3. 軍事的手段として費用対効果上極めて有効な手段
安上がりな戦争、小国または組織でも大国を攻撃できる
4. マスメディア、ソーシャルネットワークシステムの活用
 - ・テロの精神的暴力を効率的に増幅させる
 - ・テログループの主張を世論に訴える
5. 対テロ戦争に対する抵抗　－　憎しみの連鎖、スパイラル

5. テロ対策

※注意ここで述べるテロ対策は国家が行う能動的なものではなく、個人、民間レベルの防止策です。

- ☆ 情報収集・分析
 - ・一つ一つの情報はパズルのピース。全体として俯瞰し、状況を正しく認識。
 - ・危険見積により行動を決定。
- ☆ セキュリティー組織の活用
警備会社、治安機関、警備システムの活用、使えるものは何でも使う。
- ☆ 不断の警戒と準備
 - ・不測事態対処マニュアルの策定と準備訓練
 - ・チェックリストに基づく各種点検
- ☆ 危機意識と五感のフル活用
- ☆ 健康管理と十分な休養
- ☆ 現地スタッフ等との有効な人間関係の構築

爆発物と銃火器の脅威

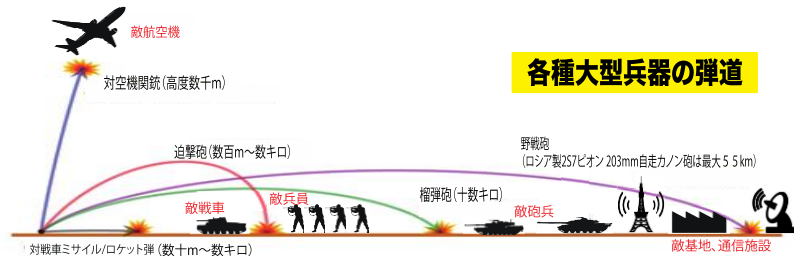
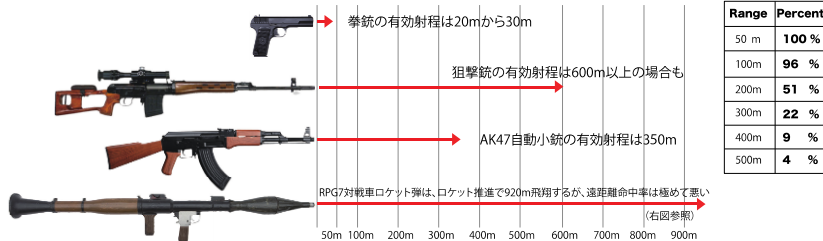
IED



IED (Improvised Explosive Device: 即席爆発装置)

- ★ RCIED-Remote Controlled IED (遠隔操作爆弾)
路肩などに置いてリモコンで爆発させる。
- ★ BBIED-Body Borne IED (徒歩自爆)
- ★ VBIED-Vehicle Borne IED (車両自爆)

銃火器





暴動 & 対策

暴動とは？

暴動とは、多数の市民・民衆が集合的に暴行・脅迫・破壊などの暴力的な活動を行うことをいう。非計画的な、組織をもたない自然発生的な集団的暴力行使で、初期の段階の内乱の一形態ともなる。

暴動は、支配される側の大衆が、さまざまな不満を正規の政治システムを通じて解消できないとき、事前の計画も明確なリーダーシップもほとんどないまま、暴発的に行われる暴力である。

暴動の特徴

☆なんらかの政治的要求ないしは経済的要求を標榜するが、指導者が不在であることが多いため体制側が警察・軍隊を出動させ暴動鎮圧を図ることによって、急速に沈静化していくことが多い。

☆イベントなどでのトラブルなどにより、小規模ながら「暴動」が発生する場合もあるが、それが翌日にまで引き継がれる事は少ない。明確な指導者が不在であること（成り行きで起き、扇動者は不明に等しい）、参加者が多数であることなどのため、暴動を起こした（参加した）側の責任が厳しく追及されることはほとんどない。

☆日本は諸外国に比べて比較的暴動は起きにくいが、オウム真理教が地下鉄サリン事件を引き起こした事に代表されるように暴動や革命を起こせるだけの組織は潜在的に存在し、様々な組織が公安・警察の監視対象となっている。

なお日本国内では暴動を起こした場合、暴行罪・傷害罪・脅迫罪・器物損壊罪・現住建造物等放火罪・建造物侵入罪・騒乱罪・公務執行妨害罪などの罪に問われることになる（内乱を起こした場合、内乱罪となる）。

予防対策

●事前の準備（情報収集及び分析）

- ・現地到着前から（日本国内で）、現地治安情報を収集しどのエリアで何が起きているかを把握。
- ・起こりうる暴動を想定し、自分たちの活動に及ぼす影響を考慮し、物心両面の準備をする。（食糧備蓄から国外脱出手続きまで幅広く考慮）

●暴動発生時

- ・暴動に加担している群衆に近寄らない。
- ・状況に応じて活動を中止、避難・撤退準備及び実施。

●暴動に巻き込まれた時

- ・できる限り速やかにその場を離れる。
- ・仲間がいるときは協力し合う。
- ・余裕がある場合は、会社、大使館等に状況を伝える。

誘拐 & 対策

なぜ誘拐をするのか？

☆営利目的の場合

- ・裕福な人間、または資金力のある企業の社員などが対象。
- ・家族を対象とする場合、その配偶者や子供が狙われる事も。

☆政治的目的の場合

- ・狙われるのは、政府関係者や国を代表するような大企業または経済開発プロジェクトの関係者が多い。
- ・政府の政策変更や収監されている仲間の解放などを要求。

予防対策

☆海外で安全に暮らすための3原則-「**目立たない**」「**用心を怠らない**」「**行動を予知されない**」

☆行動パターンを常に変え、狙われにくくすることが重要。

☆周辺の情報収集、過去に事件が発生している場合は、以下の脅威情報を調べる。

□事件の概要、誘拐犯行、グループの特徴と活動内容 他

☆現地人従業員をやむを得ず解雇するような場合は、現地の法や慣習に沿った手当をするなど、可能な限りの気配りも必要となる。

ファーストエイド《応急処置》

☆ファーストエイドとは？

- ・けが人や病人が発生した際、傷病者自ら又は各人相互に行う応急処置や傷病者護送を言う。
 - ・人命を救助し、傷病者の経過を良好にすることを目的とする。
- ファーストエイドはあくまでも応急処置であり、速やかに設備の整った医療施設へ搬送することが重要。**

☆銃撃による損傷

☆止血方法

☆代表的な止血法

☆腸管脱出時の処置

☆バイタルゾーンへの救命処置…

☆骨折の手当

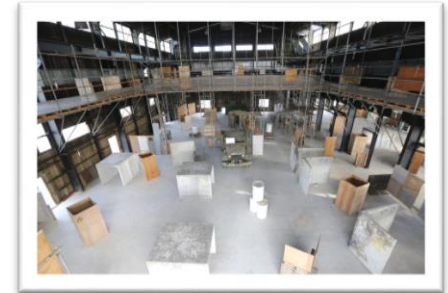
☆搬送法

【2015.07.02 H.E.A.T. ②】**Lesson 実地 / 3hコース**

講師：マイケル・ダニエルによる想定訓練

《 Restaurant & Shop 》**《 Air Port 》****《 On street 》****《 伏せ&逃げ方 》****《 車輛乗降時・移動時 》****《 誘拐 》**

...90min

ベーシックコース 想定訓練**Hostile Environment Awareness Training**

※訓練時、会場中央を使用しますので椅子の移動協力をお願い致します。



H.E.A.T. 各コース&料金表

Basic/8h基本パッケージ料金		490,000円／5名様まで
人数追加	6名～10名. A	98,000円／1名
	11名～20名. B	80,000円／1名

例/13名様開催		
基本パッケージ		490,000円
A.追加5名様		490,000円 (1名98,000円)
B.追加3名様		240,000円 (1名80,000円)
消費税		97,600円 (8%)
合計		1,317,600円

Regular/1泊2日基本パッケージ料金		1,100,000円／5名様まで
人数追加	6名～20名	180,000円／1名

例/8名様開催		
基本パッケージ		1,100,000円
A.追加3名様		540,000円 (1名180,000円)
消費税		131,200円 (8%)
合計		1,771,200円

コース	説明
Basic / 8h	短期出張者等、危険地域での活動時間・範囲が限られている方を対象にした、リスク回避に最低限必要なことを提供するコース
Regular 1泊2日	長期出張者等、危険地域での活動時間が長く、行動範囲も広い方を対象にした、より多様な場面でのリスク回避についての知識・訓練を提供するコース
Order Made	ご要望に合わせて特別に組み合わせた訓練を提供します
Protect Kids	お子様・ご家族向けの、リスク回避知識・訓練を提供するコース

H.E.A.T. 各コース&料金表

内容	説明
誘拐	誘拐を予防するには、誘拐に遭遇したら、誘拐されてしまったら、どのように行動すべきかの講義・訓練を提供します
VIP	VIPとしてどのように行動すべきか、意外と知らない注意点についてお知らせ・訓練いたします。VIPをエスコートする技術については応相談
空港	犯罪だけでなく、職員や警察官による不正な要求など、空港で遭遇するリスクをどう回避し対処するかについての訓練を提供します
観光地・市場	テロ・犯罪など、様々な危険が潜む観光地や市場。せっかく外国に来たのだから訪問したい、そんな場所においてどのようにリスクを回避するかをお教えします
スタジアム	イベントやスポーツの試合で訪れるスタジアムで、どのような危険があり、どのように回避するかをお教えします
ホテル	宿泊以外にもカンファレンスや会合で使われるホテルでのリスク回避について、知識と訓練を提供します
オフィス	一日の大半を過ごすオフィスでの危険をどう避けるかについて、知識と訓練を提供します
住居	夜間・休日など、リスクの高まる時間を過ごす住居。そこでの危険をどう予防し、どう避けるかについての知識と訓練を提供します
ナイトライフ	楽しい反面、テロ・犯罪・暴力から病気までリスクが存在するナイトライフでのリスク回避についてお教えします
レストラン	家族や同僚・友人、時には一人で訪れるレストラン（バー）での危険をどう避けるかについてお教えします
ショップ	息抜きとなり、お土産を買う場となるショッピングにおけるリスク回避の知識と訓練を提供します
公共交通機関	混雑することが多く、テロや犯罪に遭遇しやすい公共交通機関でのリスク回避についてお教えします
銀行・ATM	金品目的の犯罪のターゲットとなりやすい銀行やATMでのリスク回避についてお教えします

H.E.A.T. 各コース&料金表

コース \ 内容	誘拐	VIP	空港	観光地 市場	スタジアム	ホテル	オフィス	住居	ナイト ライフ	レストラン	ショッピング	公共交通 機関	銀行 ATM
Basic / 8h	○		○			△	○	△	△				○
Regular / 1泊2日	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Order Made	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
Protect Kids	○			○		○		○				○	

* ○:含む △:追加可能 空欄:含まない

内容 \ 理想対象者	誘拐	VIP	空港	観光地 市場	スタジアム	ホテル	オフィス	住居	ナイト ライフ	レストラン	ショッピング	公共交通 機関	銀行 ATM
セキュリティ 担当者	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎
役員	◎	◎	◎	○		○	○		◎	○	○		△
長期赴任者	◎	△	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎
短期出張者	△		○	△		◎	◎		○	○	○		
ベンダー	○		○			○	○	○	○	○	○	△	△
現地・外国 ベンダー			○			○	○	△	○			△	△
同行家族	○		◎	◎	○	○		◎		○	○	○	◎

* ◎:強く推奨 ○:推奨 △:場合による 空欄:必要なし



地球の明日を支える

CRISIS MANAGEMENT

CRISIS MANAGEMENT 出版 2,000円

「海外赴任危機管理ハンドブック」

